



学保安愛実第18-1号
令和8年7月24日

各都道府県教育委員会教育長 様

令和8年度全国学校保健・安全研究大会
愛知県実行委員会会長（愛知県教育委員会教育長）

令和8年度全国学校保健・安全研究大会の開催について（通知）

時下、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

標記大会につきまして、別添開催要項のとおり実施します。

つきましては、大会の趣旨を御理解の上、下記について貴域内の市町村教育委員会及び各幼稚園、認定こども園、学校、関係団体並びに国立及び私立学校の関係者等に御周知いただくとともに、教職員の参加について特段の御配慮をお願いします。

なお、開催要項等については、愛知県ホームページにも掲載します。

また、管轄が別部署の場合は、担当課へ伝達頂く等の御協力を賜りますようお願いします。

記

1 送付要項

（1）開催要項

（2）募集要項（大会参加登録・宿泊・お弁当等のご案内）

2 参加申込について

（1）申込期間 令和8年7月24日（金）から令和8年9月24日（木）まで

（2）申込方法 別添募集要項（大会参加登録・宿泊・お弁当等のご案内）

を参照し、専用申込フォームから申し込んでください。

申込フォーム URL : <http://www.mwt-mice.com/events/hokenkenkyu2026>

3 その他

（1）申込の取りまとめについては、名鉄観光サービス株式会社に委託しています。

（2）全国学校保健会中央大会への申込は本大会申込からはできません。日本学校保健会発出文書に基づき別途申込をお願いします。

（3）以下のホームページに開催要項等を掲載します。

愛知県教育委員会 HP トップページ（愛知の教育）>

保健体育課・全国高校総体推進室 > 令和8年度全国学校保健・安全研究大会
・令和8年度全国学校保健・安全研究大会について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/hoken-taiiku/hokenanzen.html>

担 当 愛知県実行委員会事務局（佐野）
（愛知県教育委員会保健体育課内）

電 話 （052）954-6793（ダイヤリン）

電子メール hoken-taiiku@pref.aichi.lg.jp

岩手県教育委員会

8.7.24

保健体育課

令和8年度全国学校保健・安全研究大会開催要項

1 趣旨

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、子供の心身の健康に深刻な影響を及ぼしている。肥満や痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患、薬物乱用など、子供たちが抱える健康課題は一層多様化・複雑化している。さらに、心身の不調の背景には、いじめや貧困などの社会的要因が関わっている場合もあり、子供一人一人に応じた、よりきめ細かな対応が求められている。

加えて、各地で頻発する自然災害に加え、登下校中を含めた事件・事故、学校への不審者侵入、SNS等の利用に伴う犯罪など、子供たちの安全を脅かす事案も顕在化している。

こうした課題の解決には、学校全体で学校保健・学校安全に取り組むための組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を推進することが不可欠である。

本大会は、長年にわたる研究成果を踏まえ、生涯を通じて心豊かにたくましく生きる子供の育成を目指し、諸課題について研究協議を行うことで、学校保健・学校安全の充実と発展に資するものである。

2 主題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進

～健康課題が多様化・複雑化する社会の中で、主体的に健康で安全な生活を実践できる子供の育成～

3 主催

文部科学省、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、
公益財団法人日本学校保健会、愛知県学校保健会、名古屋市学校保健会

4 後援

公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部

5 期日

令和8年11月19日（木）・20日（金）

6 開催方法

参集開催及び後日オンデマンド配信

※ オンデマンド配信は、「記念講演」と「課題別研究協議会」のみ配信

7 開催地及び会場

開催地 愛知県名古屋市

会 場 Niterra 日本特殊陶業市民会館、名古屋市音楽プラザ

8 内容

(1) 全体会

・開会式

・表彰式

学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う。

・記念講演

講演内容 「子どもたちとつくる、これからの学校安全

ー学ぶ・教え合う・変える、科学的傷害予防の新しいかたちー」

講 師 東京科学大学工学院機械系 教授 西田 佳史 氏

(2) 課題別研究協議会（別表）

10 課題について、課題別に研究発表、研究協議、指導助言及び講義を行う。

(3) 全国学校保健会中央大会

9 日程及び内容

【1日目】11月19日（木）

11：30	12：00	12：30	13：00	14：00	14：30	16：00
	一般参加者受付		【開会式】 【表彰式】	休憩	【記念講演】	
受賞者 受 付	受賞者 打合せ			【受賞伝達式】		

【2日目】11月20日（金）

9：00		9：30		12：00		13：00		15：30	
受付	【課題別研究協議会】 （5 課題）			昼食 休憩	【課題別研究協議会】（5 課題）				
					全国学校保健会中央大会				

10 参加対象者

- (1) 幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、保健主事、養護教諭、保健体育科教諭、安全担当、その他の教職員
- (2) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- (3) 教育委員会の学校保健、学校安全関係職員
- (4) 学校保健会事務局の職員
- (5) P T A 会員、その他都道府県・指定都市・中核市教育委員会で適当と認めた者

11 資料代 3, 5 0 0 円 ※参加形態を問わず一律

12 関係団体が主催する行事

- (1) 第 57 回全国学校保健・学校医大会 令和 8 年 11 月 21 日（土）
- (2) 第 76 回全国学校歯科医協議会 令和 8 年 11 月 19 日（木）
- (3) 第 76 回全国学校薬剤師大会 令和 8 年 11 月 19 日（木）

13 全体会及び課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会会場

【1日目】令和8年11月19日（木）全体会・受賞伝達式

内 容	会 場
全体会（開会式・表彰式・記念講演）	Niterra 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
受賞伝達式（学校保健表彰）	Niterra 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
受賞伝達式（学校安全表彰・ 学校安全ボランティア活動奨励賞）	Niterra 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

【2日目】令和8年11月20日（金）課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会
 <午前の部> 9：30～12：00（9：00開場）

内 容	会 場
第4課題（現代的健康課題）	Niterra 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
第2課題（保健管理）	Niterra 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
第5課題（歯・口の健康づくり）	Niterra 日本特殊陶業市民会館 第1・第2リハーサル室
第6課題（学校環境衛生）	名古屋市音楽プラザ 合奏場
第9課題（教科等における安全教育）	名古屋市音楽プラザ 中リハーサル室

<午後の部> 13：00～15：30

内 容	会 場
第3課題（心の健康）	Niterra 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
第1課題（学校経営と保健組織活動）	Niterra 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
第7課題（喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育）	Niterra 日本特殊陶業市民会館 第1・第2リハーサル室
第8課題（学校事故防止対策）	名古屋市音楽プラザ 合奏場
第10課題 （関係機関等との連携による安全の体制整備）	名古屋市音楽プラザ 中リハーサル室
全国学校保健会中央大会	Niterra 日本特殊陶業市民会館 第1会議室

※参加希望人数等により、会場を変更する場合があります。

14 大会会場へのアクセスについて



鉄道利用

名古屋市営地下鉄	名城線「金山駅」下車 6番出口より北へ徒歩3分
J R（在来線）	東海道本線・中央本線「金山駅」下車 北へ徒歩5分
名古屋鉄道	名鉄名古屋本線「金山駅」下車 北へ徒歩5分

航空機利用

中部国際空港	名鉄空港特急/ミュースカイ 中部国際空港 → 金山駅
--------	----------------------------

タクシー利用

J R 名古屋駅	J R 名古屋駅からタクシー約 20 分
----------	----------------------

【別表】 令和8年度全国学校保健・安全研究大会 課題別研究協議会

課 題		研 究 協 議 題	研究協議題設定の趣旨	研 究 協 議 の 内 容
第1課題	学校経営と保健組織活動	心豊かにたくましく生きる力を育むための特色ある学校経営と組織活動の進め方	心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭及び地域社会が一体となった組織活動の効果的な取組について協議する。	① 健康教育を中核とした学校経営の進め方について ② 保健主事を核として推進する健康教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第2課題	保健管理	生涯を通じて健康の保持増進を目指す学校、家庭及び地域との連携を図った保健管理の進め方	生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの理念を生かし、学校や地域の実態、個々の子供に応じた対応を図る必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	① 適切な健康診断の実施と事後措置の進め方並びに結果の活用について ② ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について ③ 感染症・食中毒等の予防及び発生時の対応について
第3課題	心の健康	豊かな人間性と社会性を育み、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方	自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子供の心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校内外の組織体制づくりの進め方について協議する。	① 児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ② 心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③ 学校、家庭及び地域との関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第4課題	現代的健康課題	多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方	現代的な健康課題への対応にあたり、年齢や生活環境などに応じて、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要がある。 そのため、生涯にわたり健康を保持増進するための望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について協議する。	① 発達の段階に応じた望ましい生活習慣づくりの進め方について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方	生涯にわたる健康づくりを実践するためには、自分の歯や口の健康に関心をもち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	① 歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第 1 課 題	学校経営と保健組織活動	① 愛知県西尾市立花ノ木小学校 校 長 杉 本 春 美	○講 師 愛知教育大学 教 授 山 田 浩 平 ○指導助言者（コーディネーター） 岩手県教育委員会事務局 沿岸南部教育事務所 主任指導主事 桒 澤 弥 生
		② 青森県立三沢高等学校 養護教諭 志 田 たまき	
		③ 長野県須坂市立相森中学校 養護教諭 村 田 博 子	
第 2 課 題	保健管理	① 静岡市静岡医師会学校医園医委員会 学校医・園医 大久保 由美子	○講 師 九州看護福祉大学 准教授 松 崎 美 枝 ○指導助言者（コーディネーター） 熊本県立苓北支援学校 教 頭 小 島 慶 子
		② 愛知県立大府もちのき特別支援学校 教 諭 宗 宮 祐 子	
		③ 中之島小中一貫校 大阪市立中之島小学校 指導養護教諭 中 井 美 紀	
第 3 課 題	心の健康	① 新潟県燕市立分水小学校 養護教諭 目 黒 咲 子	○講 師 社会医療法人あさかホスピタル 院 長 水 野 雅 文 ○指導助言者（コーディネーター） 埼玉県立総合教育センター 指導主事 長 濱 美智子
		② 愛知県大口町立大口中学校 教 諭 高 氏 猛 裕	
		③ 福島県教育庁義務教育課 指導主事 江 花 洋 介	
第 4 課 題	現代的健康課題	① 岡山県立勝間田高等学校 教 諭 河 本 逸 聖	○講 師 日本女子体育大学 教 授 横 嶋 剛 ○指導助言者（コーディネーター） 山梨県教育庁保健体育課 課 長 山 本 晃 司
		② 愛知県高浜市立高浜小学校 教 諭 中 條 裕 絵	
		③ 三重県紀北町立潮南中学校 養護教諭 西 田 夏 美	
第 5 課 題	歯・口の健康づくり	① 東京都立第四商業高等学校 主任養護教諭 中 野 友美子	○講 師 明海大学 名誉教授 安 井 利 一 ○指導助言者（コーディネーター） 札幌市教育委員会学校施設課 指導主事 大 巻 太 一
		② 富山県高岡市立古府小学校 養護教諭 立 浪 梨 渚	
		③ 名古屋市立桜丘中学校 養護教諭 小 山 希代子	

課 題		研 究 協 議 題	研究協議題設定の趣旨	研 究 協 議 の 内 容
第 6 課 題	学校環境衛生	快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方	快適な学習環境を作るためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。 そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。	① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について ② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について ③ 学校薬剤師との連携による学校環境衛生の取組について
第 7 課 題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりをみせ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。 そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止教育を推進する方法について協議する。	① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について ② 小、中、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について
第 8 課 題	学校事故防止対策	事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について	学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センター災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。 また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。	① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について ② 事件や事故、災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について ③ 事件や事故、災害発生時の適切な対応の在り方について
第 9 課 題	教科等における安全教育	発達の段階に応じた効果的な安全教育について	生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。 そのため、発育発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。	① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する児童生徒の育成について ② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する児童生徒の育成について ③ 自らの安全を守るために主体的に行動し、他の人々の安全にも気配りができる児童生徒の育成について
第 10 課 題	関係機関等との連携による安全の体制整備	学校・家庭・地域等が連携した効果的な安全体制整備の在り方について	学校安全体制を充実させるためには、組織体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。 そのため、学校、家庭及び地域社会等が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。	① 学校安全充実のための効果的な組織体制の在り方について ② 関係機関や地域ボランティア等との連携による災害安全の体制整備について ③ 関係機関や保護者・地域住民等との連携による災害安全の体制整備について

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第 6 課 題	学校環境衛生	① 岐阜県土岐市立土岐津小学校 養護教諭 岩 淵 彩 花 学校薬剤師 大 野 良 子	○講 師 横浜薬科大学 教 授 小 出 彰 宏 ○指導助言者（コーディネーター） 川崎市教育委員会事務局 学校教育部健康教育課 課長補佐 鳥羽山 明 美
		② 北海道教育庁学校教育局健康・体育課 指導主事 小 西 亜 紀	
		③ 愛知県立一宮南高等学校 養護教諭 伊 藤 実 喜 学校薬剤師 足 立 貴美子	
第 7 課 題	喫煙、 飲酒、 防止教育、 薬物乱用	① 沖縄県豊見城市立長嶺中学校 教 諭 田 港 朝 也	○講 師 湘南医療大学 教 授 船 田 正 彦 ○指導助言者（コーディネーター） 和歌山県教育庁学校教育局 健康体育課 指導主事 田 代 裕 人
		② 愛知県豊川市立中部中学校 教 諭 中 島 京 子 学校薬剤師 曾 田 高 弘	
		③ 福井県敦賀市立敦賀南小学校 養護教諭 寺 腰 真 希	
第 8 課 題	学校事故防止対策	① 独立行政法人日本スポーツ振興センター 災害共済給付事業部調査課 課 長 谷 雅 紀	○講 師 名古屋工業大学 教授 先端医用物理・情報工学 研究センター センター長 平 田 晃 正 ○指導助言者（コーディネーター） 滋賀県守山市立守山小学校 教 頭 森 博 之
		② 熊本県教育庁県立学校教育局 学校安全・安心推進課 指導主事 廣 田 幸 恵	
		③ 大阪教育大学附属池田中学校 指導教諭 谷 直 樹	
第 9 課 題	教科等における安全教育	① 宮城県石巻市立湊中学校 校 長 平 塚 真一郎	○講 師 静岡大学 教授 現代教育研究センター センター長 藤 井 基 貴 ○指導助言者（コーディネーター） 神奈川県教育局保健体育課 高校総体推進室 グループリーダー 佐 藤 栄 嗣
		② 静岡県立駿河総合高等学校 教 諭 小 泉 亜衣子	
		③ 愛知県愛西市立市江小学校 教 諭 鬼 頭 彩	
第 10 課 題	関係機関等との連携による安全の体制整備	① 岩手県大槌町立吉里吉里中学校 教 諭 倉 本 祐太郎	○講 師 岩手県立図書館 館長 岩手大学地域防災研究センター 客員教授 森 本 晋 也 ○指導助言者（コーディネーター） 熊本市教育委員会健康教育課 指導主事 河 南 薫
		② わくわく防災ジュニアクラブ岐阜可見 代 表 大 前 雅 紀	
		③ 愛知県西尾市危機管理局危機管理課 課長補佐 齊 藤 寛 憲	